



令和6年度

横浜市
大気・水環境、交通騒音、地盤沈下等

年次報告書(概要)

令和6年度

横浜市大気・水環境、交通騒音、地盤沈下等年次報告書(概要)

令和7年7月発行

〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10

横浜市みどり環境局環境保全部

電話(045)671-3507

FAX (045)681-2790

横浜市みどり環境局



大気測定結果報告書



環境管理課監視センターは、二酸化硫黄や一酸化炭素などの大気汚染物質を自動測定機により常時監視しています。常時監視は、区役所や小学校に設置している一般環境大気測定局（一般局）19局と、主要道路沿いの自動車排出ガス測定局（自排局）8局で行っています。

また、ベンゼンなどの有害大気汚染物質を一般局・自排局の3局、ダイオキシン類を一般局6局で測定するとともに、保土ヶ谷区仏向西に放射線モニタリングポストを置いて、地面から1メートルの高さで放射線の量を調べています。

○測定結果概要

- ・環境基準が定められた項目について、光化学オキシダントを除き、全ての測定局で環境基準を達成。
- ・有害大気汚染物質及びダイオキシン類は、調査対象の全ての測定局において環境基準を達成。
- ・空間放射線（ガンマ線）の年間最高値は0.058 μ Sv/時。

	二酸化硫黄 (SO ₂)	一酸化炭素 (CO)	浮遊粒子状物質 (SPM)	二酸化窒素 (NO ₂)	光化学 オキシダント	微小粒子状物質 (PM2.5)
達成局数	18/18	3/3	27/27	27/27	0/19	20/20
達成率	100%	100%	100%	100%	0%	100%



水準測量成果表



水・土壌環境課では、横浜市の臨海地域及び内陸部の沖積平地における地盤変動を把握するため、昭和34年から1級水準測量を行っています。

令和6年度は、主に軟弱地盤である沖積低地（171.90km²）を調査対象地域として、116地点の延長141km（国土地理院測量の51kmを含む）の精密水準測量を実施しました。

○測定結果概要

- ・前年と比較が出来る成果点116地点のうち、10mm以上の沈下は確認されず、最大沈下量は7.7mm。
- ・隆起は52地点(45%)で確認。

区名	観測 点数	成果 点数	沈下 点数	年間最大変動量		
				沈下量	町名	点番号
鶴見	7	7	4	1.4	鶴見中央四丁目	56
神奈川	8	8	6	2.2	六角橋六丁目	127
西	7	7	6	1.2	西平沼町	234
中	0	0	0	—	—	—
南	4	4	0	—	—	—
港南	2	2	0	—	—	—
保土ヶ谷	4	4	0	—	—	—
旭	0	0	0	—	—	—
磯子	3	3	0	—	—	—

区名	観測 点数	成果 点数	沈下 点数	年間最大変動量		
				沈下量	町名	点番号
金沢	12	12	2	0.9	朝比奈町	521
港北	14	14	3	0.5	小机町	991
緑	2	2	2	4.2	長津田町	111052
青葉	5	5	0	—	—	—
都筑	3	3	1	1.4	勝田町	967
戸塚	5	5	2	1.5	戸塚町	交 35-7
栄	20	20	18	7.7	金井町	T-49
泉	11	11	7	2.6	上飯田町	T-5
瀬谷	9	9	9	4.1	橋戸三丁目	S-23



公共用水域及び地下水の水質測定結果報告書



環境管理課監視センターは、「公共用水域及び地下水の水質測定計画」に沿って、河川、海域及び地下水の水質の測定を行っています。

横浜市内11河川、7海域及び地下水概況調査25地点において、環境基準項目を測定し、河川及びその底質の6地点、地下水6地点において、ダイオキシン類調査を行いました。また、河川4地点及び地下水6地点において、ペルフルオロオクタンスルホン酸

（PFOS）及びペルフルオロオクタン酸（PFOA）の調査を行いました。

○測定結果概要

- ・環境基準（健康項目）は、河川・海域ともに全ての測定地点で達成。
- ・環境基準（生活環境項目）のうち、河川BODの達成率は82%、海域CODの達成率は71%。
- ・地下水概況調査25地点のうち、1地点において砒素が環境基準を超過。再調査の結果、不検出。
- ・ダイオキシン類調査は、全ての調査地点で環境基準を達成。
- ・PFOS及びPFOAは、全ての調査地点で指針値（暫定）を達成。



	河 川 BOD	海 域		
		COD	全窒素	全磷
達成数	9/11	5/7	6/7	3/7
達成率	82%	71%	86%	43%



騒音・振動測定結果報告書



環境管理課監視センターは、道路、新幹線鉄道の騒音・振動の測定をしています。道路交通騒音については、市内の主要幹線道路を代表する18地点で測定を行い、環境基準超過の判定手法である面的評価を行いました。

新幹線鉄道騒音・振動は市内の東海道新幹線鉄道沿線2地点（各3測定点）の計6測定点において測定を行いました。

○測定結果概要

- ・道路交通騒音は、面的評価の対象の77,646戸のうち、68,465戸（88.2%）で昼間・夜間とも環境基準を達成。
- ・新幹線鉄道騒音は、6測定点のうち2測定点において環境基準を達成。新幹線鉄道振動は全ての測定点で環境基準を達成。

【編集後記】

みどり環境局環境管理課監視センター及び水・土壌環境課では、大気汚染、公共用水域及び地下水、道路・鉄道騒音振動、地盤沈下の常時監視を行っております。各調査結果をまとめた年次報告書、及びそれらを簡潔にまとめた概要版を発行しました。多岐にわたり御活用いただければ幸いです。年次報告書は各紹介欄の二次元コードからご覧いただけます。